

お申し込み方法

人間ドック・健診(企業及び団体)は予約制になって
おります。お電話にてお問い合わせ下さい。

各種コースと料金のご案内

人間ドック(半日) ¥43,200(税込み)

脳ドック(半日) ¥46,440(税込み)

オプション検査各種

生活習慣病予防健診(協会けんぽ)実施機関

健保連指定人間ドック実施機関

予約

検診管理課 ☎TEL 072-876-7008

予約受付時間 9:00~17:00

◆ドック実施日・時間◆

実施日 火曜日~土曜日(土曜日は午前中のみ)

人間ドック(半日) 午前中

脳ドック(半日) 午前又は午後

※検査時間はオプション検査など追加項目により
変わります。

◆実施日・コースなどが決定した後、問診表・検便容器
検査のご案内などを郵送致します。

結果

◆検査後2~3週間後ご本人様宛に郵送致します。

結果説明は予約制になっております。

ご希望の方は予約をおとり下さい。

※検査によっては結果が出るのに時間がかかるものが
ございます。ご了承下さい。

検査項目		検査目的	半日ドック	
			人間	脳
身体測定	身長・体重・肥満度 標準体重・BMI	肥満の程度	○	○
生理検査	血圧測定	高血圧・高血圧からくる病気	○	○
	心電図検査	不整脈・狭心症・心筋梗塞 心肥大など	○	○
	聴力検査	難聴など	○	
X線	胸部X線 正面 側面	肺癌・肺結核・心肥大など	○	○
			○	
	胃部X線(バリウム) (胃内視鏡へ変更可)	食道癌・胃癌・胃潰瘍など	○	
	腹部CT (内臓脂肪測定)	オプション検査参照	○	
MRI	頭部(MRI-MRA) 頸部MRA	オプション検査参照		○
便検査	潜血2回法	大腸癌・食道、胃、十二指腸 の炎症・痔など	○	
尿検査	蛋白	慢性肝炎 腎臓疾患 糖尿病 など	○	○
	糖		○	○
	ウロビリノーゲン		○	○
	ケトン体		○	
	潜血		○	○
	沈査		○	
	PH		○	
	ビリルビン		○	
	比重		○	
眼科	視力	近視・遠視・乱視など	○	
	問診	病歴聴取 生活習慣病の予防など	○	
	医師診察			

検査項目		検査目的	半日ドック		
			人間	脳	
血液検査	総蛋白	栄養状態の指標	○		
			○		
	アルブミン			○	
	アミラーゼ	膵炎などの指標	○	○	
	AST(GOT)	肝臓・胆のうの 機能検査	○	○	
	ALT(GPT)		○	○	
	ALP		○	○	
	LDH		○	○	
	コリンエステラーゼ		○	○	
	γ-GT(γ-GTP)	肝炎・肝硬変・黄疸 などの指標	○	○	
	総ビリルビン		○	○	
	尿素窒素	腎臓の機能検査	○	○	
	クレアチニン		○	○	
	尿酸	痛風の検査	○	○	
	総コレステロール	血液中の脂肪分 高脂血症など 動脈硬化の指標	○	○	
	HDLコレステロール (善玉コレステロール)		○	○	
	LDLコレステロール (悪玉コレステロール)		○	○	
	中性脂肪		○	○	
	Na(ナトリウム)	体液バランスの指標	○	○	
	K(カリウム)		○	○	
Cl(クロール)	○		○		
Ca(カルシウム)	骨代謝などの指標	○			
Fe(鉄)	鉄欠乏性貧血の指標	○			
血糖	糖尿病などの指標	○	○		
HbA1c	約2ヶ月前の血糖の平均	○	○		
血液学検査	赤血球数	貧血・白血病など 血液疾患の検査	○	○	
	白血球数		○	○	
	血色素量(ヘモグロビン)		○	○	
	ヘマトクリット値		○	○	
	血小板数		○	○	
	MCV		○	○	
	MCH		○	○	
	MCHC		○	○	
白血球分類		○			
免疫血清学的検査	CRP	炎症反応の指標	○		
	RF	リウマチの検査	○		
	RPR	梅毒の検査	○		
	TPHA		○		
	HBs抗原	B型肝炎ウイルスの検査	○		
HCV抗体	C型肝炎ウイルスの検査	○			

社会医療法人 信愛会

検診管理課

日生会 脳神経外科病院

TEL 072-876-7008

FAX 072-876-7058

検査項目	検査内容	検査目的
頭部CT検査 ¥10,800	CTは放射線を使用し、脳の状態を検査します。検査時間は2分程度。	脳出血・脳梗塞・脳腫瘍など
胸部CT検査 ¥12,960	肺を3次元的に撮影して、径5mm以下の小さな影もとらえる事ができます。肺癌の早期発見に威力を発揮します。	肺癌・食道癌・肺炎腫・心疾患など
腹部CT検査 ¥12,960	主に肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓です。CTはガスや脂肪のためエコーで見えにくい深部臓器の抽出が可能です。放射線を使った検査であるため、妊娠の可能性、妊娠中の方はご遠慮下さい。	肝癌・肝硬変・胆石症・胆のう胆管癌・膵炎・膵癌・腎癌・卵巣のう腫・卵巣癌・子宮筋腫・子宮がん・大動脈瘤・前立腺肥大・前立腺癌など
腹部超音波検査 ¥5,400	×線検査と違い、被曝の心配はありません。多くの臓器(肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓など)が観察でき、腫瘍の有無だけでなく、大きさや深達度も調べることができます。	
乳房×線検査(マンモグラフィ) ¥5,400	乳房を二枚の板ではさみ撮影します。圧迫による痛みは個人差があります。特に表面から触れる事の出来ない数ミリの小さな早期癌を発見することができます。乳房を圧迫して薄くすることで病変の見落としを防ぐことができ、被曝を最小限にすることができます。	乳癌・乳房良性腫瘍(乳腺線維腺腫)など
乳房超音波検査 ¥5,400	20代~40代にかけては乳腺の量が多く、乳房×線検査では病気が乳腺に隠れてしまうことがあります。そんな方には超音波検査が効果的です。	
肺機能検査 ¥3,240	肺を出入りする空気量や、息を吐く際の勢いを調べる検査です。	肺炎腫・気管支拡張症など

検査項目	検査内容	検査目的
頭部MRI-MRA検査 頸部MRA検査 ¥27,000	MRIは磁場を使い脳の状態を検査します。頭部MRIにはMRIとMRAの2種類があります。頭部MRIは脳実質(脳ミン)を、頸部MRAは脳血管を検査する事ができ、頸部MRAで頸動脈を検査します。	脳出血・脳梗塞・脳腫瘍・脳動脈瘤・脳動脈の狭窄・頸動脈の狭窄など
心臓超音波検査 ¥10,800	心臓弁膜症、虚血性心疾患、心筋症等、心房や心室の大きさ、心臓の壁の厚さや動き、心臓の中隔欠損の有無・弁の状態と動きなど、心臓の形や運動の異常を調べます。	心臓弁膜症・狭心症・心筋梗塞・大動脈瘤・先天性心臓病など
頸動脈超音波検査 ¥6,480	動脈硬化の好発部位であり、脳に血液を送る重要な血管である為、動脈硬化による血管の狭窄や閉塞がないかを検査します。	脳梗塞・動脈硬化
骨粗鬆症検査 ¥2,160	手の×線写真を撮り、骨粗鬆を調べる検査です。閉経後の女性に多く、骨折や寝たきりの原因の多くを占めると言われています。	骨粗鬆症・カルシウム代謝異常など
眼底検査 ¥1,620	眼底の血管は体のなかで最も鮮明に観察できる血管です。そのため目の病気だけでなく脳や血管などの病気の情報を得ることができます。	動脈硬化症・糖尿病の合併症の有無・緑内障など

腫瘍マーカー(血液検査)

検査項目	腫瘍マーカー項目	金額
子宮・卵巣癌検査	CA125・SCC	¥2,960
乳癌検査	CA15-3	¥2,360
すい臓癌検査	CA19-9	¥1,720
肝臓癌検査	CEA・AFP・PIVKA II	¥8,640
肺癌検査	SCC・NSE・シフラ	¥7,660
胃癌検査	ペプシノゲンI・II	¥3,670
前立腺検査	PSA	¥1,440
甲状腺検査	FT3・FT4・TSH	¥4,070



よくあるご質問、お問い合わせ



Q. 胃透視を胃カメラに変更できますか?

A. 変更可能です。医師の判断により病理組織を採取した場合別途ご請求させていただきます。(病理組織分のみ健康保険適用)

Q. 被曝って何ですか?

A. 人体が放射線にさらされる事を言い、自然に存在する放射線源に被曝する自然被曝とエックス線や放射線治療などの医療被曝があります。医療被曝が他の被曝と違う重要な点は被曝を伴う医療によって得られる利益があることです。例えば、エックス線検査によって患者様の病気の発見や病状の変化など詳しい情報が得られるという利益をうけます。その利益は被曝による危険度(リスク)より高いことが前提となるのです。

Q. 腹部CTと腹部超音波(エコー)はどう違いますか?

A. CTは短時間の息止めで腹部全体を検査でき、数ミリ単位の病変を発見できるため診断に大きな力を発揮します。しかし、放射線を用いるため人体に影響のない程度に被曝をします。エコーは病変の発見だけでなく、その深達度まで知ることができますが、ガスや脂肪の影響で深部臓器が見えにくい欠点があります。

Q. マンモグラフィと乳房超音波(エコー)はどちらを受ければいいですか?

A. マンモグラフィでは早期乳がんの前兆である石灰化を見つけることができ、40歳以上の方はマンモグラフィでの検査の方が優れています。超音波検査は40歳以下の乳腺の発達した若い方に適しており、また放射線被曝がないため妊娠中の方にも適しています。乳房の病変を発見しやすくするためにも両方の検査を受けられることをお勧めします。

Q. CTとMRの違いは何ですか?

A. CTとMR、どちらが良いかは検査部位や病気によって変わります。脳血管を薬剤を用いずに検査するにはMRしかありません。腹部を短い息止めで検査し、上腹部から骨盤まで連続性のある画像を得ようとすればCTしかありません。

頭部検査はMRを、胸腹部検査はCTをお勧めします。

Q. 腫瘍マーカーって何ですか?

A. 腫瘍マーカーとは、癌細胞や体の免疫系から放出される特殊なたんぱく質のことです。血液検査によってこれが高濃度で検出されると、癌の疑いがあります。よって一般の検査と合わせて行うことでより正確に悪性腫瘍(がん)の発見につながるとされています。